

公益事業の効果報告書

実施者 (団体名)	建設フェスタ実行委員会
実施事業名	建設フェスタ2018
実施目的	次代を担う子どもたちやその保護者を対象として、一般の県民向けに集客性の高いイベントを開催し、生活・社会基盤の整備を担う建設事業に対する理解と建設産業への魅力を正しく理解してもらうことを目的に開催する。
実施場所	笠松運動公園 特設会場（茨城県ひたちなか市佐和2197-28）
実施日 (期間)	平成30年10月27日（土）
参加人員	約20,000人
実施内容	<p>国土交通省関東地方整備局やNEXCO東日本、茨城県土木部では、災害対策車の展示やパネルの展示、パンフレットを配布するなど、いばらきのまちづくりなどを紹介した。</p> <p>業界各団体では、建設機械の体験コーナー、建設や環境に関する物づくり体験コーナー、ゲームコーナーなどを催した。</p> <p>天候にも恵まれ県内外より約20,000人（昨年度比+12,000人）の来場者を迎え、特に安全に考慮し、建設機械操作体験のほか、ミニ上棟式や親子競演丸田切り大会、測量・木工作体験、消波ブロック作りの体験作業などを開催した。</p> <p>その他にも、建設フェスタのなかで例年実施している、県内各市町村の小・中学校より集められた「建設現場の風景」を描いた絵画作品の表彰式を行ったほか、社会貢献活動の一環として実施している「チャリティーバザー」を行い、その収益を各福祉団体等へ寄付した。</p>
事業の告知媒体 (告知方法)	ラジオ、チラシ（新聞折込、県内全小学生及び一部の幼稚園・保育園）、各団体のホームページ、業界広報紙、県報、市町村報、新聞等による告知
実施効果	<p>建設フェスタは、茨城県内の公共団体や建設産業に関連する各種団体が一体となって、県民の暮らしや経済活動に不可欠な社会資本整備の重要性と必要性また建設産業の魅力を広く県民に伝えることを目的とし開催しているイベントであり、平成6年より始まり本年度で第25回目を迎えた。</p> <p>本年度は、天候にも恵まれ、約20,000人（昨年度比+12,000人）の来場者があり、リピーター等を含め県内外から多くの来場者のもと、地域における大規模なイベントとして定着していると感じる。</p> <p>建設フェスタの目玉イベントとなっている「ミニ上棟式」や「建設機械操作体験コーナー」では、定員割れをするほど申込者が多く、これも継続して実施してきたことにより、地域の皆様に対し我々のPR活動が浸透している結果だと考える。特に最近では、若年者の入職不足・離職率増などの問題が取り上げられているが、このようなイベントにより、建設産業に対する意識を保護者様から変えていただき、諸問題の解消、並びに、建設産業の魅力アップに繋がれば幸いと考える。</p>



開会式



開会式



建設体験リレー



ミニ消波ブロック製作体験

実施状況



親子競演丸太切り



建設機械操作体験



建設機械操作体験



ミニ上棟式